

β 遮断薬の使い方②

(減薬・休薬について)

- ① β 遮断薬を投与していた慢性心不全患者が経過中に急性増悪を来たした場合には、心不全のコントロールが可能な限り β 遮断薬は継続投与すべきである。
- ② COMET試験やOPTIMIZE-HF試験の結果によれば、心不全入院の経過中にβ 遮断薬を中止または減量した患者群の死亡率は、β 遮断薬を継続して投与した患者群より有意に悪化していた。
- ③ したがって、心不全のコントロールがどうしても困難な場合にのみ一時的に減薬・休薬するが、心不全が安定すれば直ちに投与を再開してドーズアップを試みるべきである。